12・1月

カトリック麹町教会

mojis

『マジス』 — 「より、もっと、さらに」

教会テーマ『勇気と寛大な心をもって出かけて行きなさい』（教皇フランシスコ）—「ミッション2030」— 新しい協働

主のご降誕 祝 2021年新春

クリスマスおめでとうございます

主任司祭　英　隆一朗

1年前、教皇フランシスコの来日でとても大きな励ましをもらいました。その恵みをどう生かしていくかしっかりと考えようと思っていた矢先、あっという間にコロナ禍の厳しい状況に投げ込まれました。2020年は、公開ミサの禁止とネット中継、制約されたミサや教会活動など、今まで経験したことがない変動の1年でした。

教会は神とのつながりを基本にして、人と人がつながる場でもあります。コロナ以前は、教会に実際に来ることによって、そのつながりをもつことができました。それができなくなってしまい、改めて人と人とのつながりをどうするか、一番悩んでいる点です。

2021年は危機の中にあっても、新たなつながりを模索していきたいと思っています。

皆さまの上に神の祝福がありますように。

主のご降誕おめでとうございます！

助任司祭　ボニー・ジェームス

コロナ感染拡大防止のため、教会のさまざまな活動が制限されている中で、今年のクリスマスは例年と違う雰囲気で祝うことになるでしょう。

いつも通り教会に集まって、クリスマスミサに参加できる人の数が限られる状態ですが、そんな混乱の状況の中でイエスさまの誕生をどのように迎えたらよいのでしょうか。

実は今年、教会学校の子どもたちはクリスマスに向けての準備として、自宅で4本のクリスマスキャンドルの絵を準備し、待降節の間毎週一本ずつキャンドルの絵に色を塗り、主の誕生を待ち望むようにしています。

大人の方も自宅で実際のクリスマスキャンドルを準備し、毎週一本ずつロウソクに火をともし、イエスさまの誕生を待ち望むようにしたり、家庭内でクリスマスプレゼントを交換したりするのもよいかもしれません。

今年のクリスマスは例年のように、さまざまなお祝いができなくても、心の中にイエスさまがお生まれになるように祈りたいです。

主に立ち帰るならば

（イザヤ書55：7）

助任司祭　李　相源

ご誕生

①「ソーシャルディスタンス」。人間は人と人との間に「神」を置くべきなのに、そこに「距離」を置きなさいと。②教皇来日テーマ「すべてのいのちを守るため」に人間の想いが込められてはいるが、かたくなな私たちは頑固で不動。どっちが動く？　その時歴史が動いた。降誕「今、会いにゆきます」。

新しい協働

①漢字「新」から「斧（おの）」が見えた。従来の思い、言葉、行い（木）を切る痛みが伴わない限り、新しく「立つ」ことはできない。②神のところに立ち返り、とどまりたい、そう思うときに人は新しくなる。神のところに立ち返り、とどまる、それがベースじゃない新しい協働は虚しい。③新しい↕神に立ち返る、新しい↕神にとどまる。これが吟味できる還暦の年になりますように。アーメン。

共同体を生きる

12 月の共同祈願

一堂に集い祈ることのできない私たちが、
それぞれの場で、祈りと働きを通して、
闇に光をもたらすイエスの誕生を
祝うことができますように。

担当：共同祈願の会

1 月の共同祈願

キリスト教の一致のために祈ります。
「すべての人を一つに」という「イエスの祈り」に
心を寄せる私たちが、いかなる兄弟姉妹、
立場の違う人、苦手な人とも一致し、
愛と平和をもたらすものとなりますように。

担当：イグナチオ朝祷会

クリスマス おめでとうございます

協力司祭　ハビエル・ガラルダ

コロナ禍のため、皆さんはイグナチオ教会という神殿にあまり来られなくなりました。しかし、このコロナウイルスは重大な事実をより深く感じさせています。

「あなたがた自身は神の神殿である」（1コリント3：16）という事実です。

ただし、パンデミックが過ぎ去ってからも、神の神殿であるあなた方はイグナチオ教会神殿にしっかり来てくださいね。

2021年もよろしくお願い申し上げます。

▲（左から）フローレス神父、ガラルダ神父、シルゴ神父

驚き・喜び・感謝・祝い

協力司祭　ヘネロソ・フローレス

日本語で「クリスマスおめでとう」、英語で「Merry Christmas」、スペイン語で「Feliz Navidad」。

なぜ「おめでとう？」、なぜ「Merry？」、なぜ「Feliz？」。

結局、クリスマスは世界の歴史の最も大切な、素晴らしい出来事の記念だから。すなわち、人類の創造主である神の御ひとり子が人類の女から赤ちゃんとして生まれて、人類の人となってくださった。それほど神は私たちを愛してくださる。

その神の近さ、神のいとおしみを喜んで、楽しく祝わざるを得ないのではないでしょうか。

だから、コロナウイルスの途中でも、クリスマスの雰囲気は「驚き、喜び、感謝、祝い」の気持ちです。

そして、また新しい年を迎え、この一年も神の愛をお互いにわかち合いましょう。

クリスマス おめでとうございます！

協力司祭　マヌエル・シルゴ

「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」（ヨハネ1：14）

神さまは私たちの仲間、私たちの〝companion〟、私たちの友になってくださいました。〝companion〟の語源的意味は「パンをわかち合う人」です。神さまは私たちとパンをわかち合ってくださいました。日本語で言えば、神さまは私たちの友「同じ釜の飯を食う人」となってくださいました。

これこそ、クリスマスのメッセージです。私たちが、キリスト者として人々に伝えるべきメッセージです。クリスマスキャロルとか、クリスマスケーキとか、クリスマスプレゼントはすべて大事で美しい飾りですが、場合によってはクリスマスの中心的なメッセージを薄くします。

自分が持っているものを人々とわかち合うのは、イエスに従っていく私たちの本当の生き方です。

教会報 MAGIS 12・1 月号

- ✝ 入門・信徒養成講座の今　3-4 頁
- ✝ 11 月のお知らせ（11 月 6 日）から　5 頁
- ✝ 教会黙想会　6 頁
- ✝ パパさま来日一年　信徒の声　7 頁
- ✝ おしえて？おしえて！「ＵＡＰｓ」って？　8-9 頁
- ✝ 秋の教会活動　10 頁

入門・信徒養成講座
活動の今、そしてこれから…

信仰に導き、深める信仰入門・信徒養成講座は、コロナ禍にひるむことなく、注意深く距離をとり、オンラインも併用しつつ開催しています（11月30日現在）。現状と新年の展望を担当者の皆さんからお伝えします。

※12月1日東京大司教から「集い、勉強会など」を当面中止またはオンラインにするよう指導がありました。開催日・時間・概要詳細、新たな情報は教会ホームページを参照。

●入門　英隆一朗神父　募集中

【月】夜（未信者）【火】午後（未信者）

講座は、4月初めオンラインで受洗予定者のフォローから始めました。徐々にオンラインに慣れてから、他の未信者の方や受洗1年以内の人も受け入れて講座を続け、7月に洗礼式を実施。

現在は、オンラインの回と教会での講座の回を1週おきに開催しています。受洗希望者の入門式を終え、春に洗礼式を行う予定。未信徒の方はいつでも参加可。

●入門　ガラルダ神父　募集中

【火】午前 一般講座【金】夜 一般講座

【土】夕 一般講座

【1・3土】夜 講話と話し合い

講座が願い求める実りは、イエスのようにイエスとともに生きること、イエスにはまること、よい意味で善い人になることです。

洗礼準備とアフターケア。いつでも入れるし、いつまでも残っていいのです。終点のない山手線です。金曜はZoomでも流します。特に新しい方を募集。

●入門　岩島忠彦神父　募集中

【木】夜 未信者、カトリック信徒以外に限定

コロナの影響は2021年度も続きそうですが、工夫を凝らして「信仰入門講座」「信徒の月例会」を開講するつもりです。5月連休明け開始を目指します。

現在は、他の神父さまやシスター方と協力して「オンライン入門講座」（土9時～）を行っています。一度のぞいてみてください。

●入門　Sr景山あき子　募集中

【金】午後 中学生・高校生

中学生講座は15時から、高校生の講座は17時半から洗礼、堅信、ゆるしなど秘跡の準備を一人ひとり個別にしています。中庭に向かう部屋なので換気できています。学校帰り、おやつもありますし、親御さんがついてこられることもあります。25年続けて、皆、立派に大きくなっています。来ても来なくてもずっと404の部屋におります。

●入門　ディーターズ神父

【水】午後4時 一般講座

新しく来られる方々の祈りと信仰の心を深められますように。今後も助けの手を差しのべ導くことができるよう、聖書や重要なキリスト教文書から、特に伝えたい内容を学んでいきます。

休講中ですがミーティングは再開。コロナ禍で孤独を深めている方、参加希望者には個別善処します（募集しないが個別事前予約で対応）。

●入門　Sr品川ヨシ子

【1・3・4土】夕 一般講座

信仰を求める受洗希望者は多い。気がかりなのは、受洗後のフォローが十分にできないこと。大都会の淡白な関わりをどのように補えるかが課題です。

困難な状況だからこそめげずに教会の門をたたいた人たちを丁寧に受け止めたいと思っていますが、復活節が終わるまで休講します。

▲ディーターズ神父（右）とシスター品川（左）

●入門　Sr杉原法子　募集中

【土】午後 一般講座

聖書を通し、イエスの人となり、教えを学び、祈りの体験を交え人間の生き方を考える信仰入門講座。19年度26名受洗しました。コロナ禍で休講中。4月開講予定。募集20名（受洗1年目も応募可、ただし新規希望者優先）。希望者はメールを（携帯:matena-suga@ezweb.ne.jp、パソコン: misky775sonrisa_abierta@yahoo.co.jp）。

●入門　Sr野本佳子　募集中

【1・3水】午前 講座後希望者正午ミサも

【2水】午前 Zoom

キリスト教を知りたい方、洗礼を望む方のための講座です。コロナ禍拡大中はZoomとメール配信で致します。不安な状況の中でイエスの生き方や価値観を知ることによって、日常の中で困難を乗り越える力と希望をいただき「真の喜び・救い」を体験していきます。第2週はわかち合いを中心にしたZoomです。

●入門　木村董太朗・美智子　募集中

【日】昼 一般向け

聖書の朗読から始まって、信者としての生活についてわかち合い形式で行っています。第1・2・4日曜はオンライン講座ですが、月1回（第3日）10時ミサ後に対面講座。参加された方は心安らぐ講座に出会えたと喜ばれています。信者の方も可。

入門・信徒養成講座（つづき）
活動の今、そしてこれから…

※開催日・時間・概要詳細、新たな情報は教会ホームページを参照。

●入門・養成　フローレス神父

【水】午前　一般講座

参加者は中高齢の皆さんが多いので、コロナ禍の春からお休みにしてきましたが、1月下旬あたりから、再開しましょうか。信仰入門と、信徒養成のため聖書に親しむことを合わせた講座です。3月に1人が受洗されました。神の国、天上の教会と地上の教会、福音の喜びなど、一緒に勉強しましょう。

●入門・養成　古川清志　募集中

【月】午前　女性のための講座　午後　聖書100週間【火】夕一般【土】午前　未信者

コロナ禍でも6月に14名が受洗し喜びに包まれました。9月から講座も再開しています。入門講座2つと聖書100週間を開講、新規会員も募集中です。目下、力を入れるのは9月新規開講の「佐々木会」。評議員経験の男性7名と始めた「キリスト教入門と洗礼準備講座」です。未信者・信者とも大歓迎。お待ちしています。

▲佐々木会の皆さん

●入門　西部恭子　募集中

【木】午前　信徒による入門講座

シスター鷲尾から受け継ぎ昨年スタートしました。グループでミサにあずかるほか、堅信準備の方とメールでのわかち合いをしています。細々とつながりながら4月再開に向けて歩んでいます。洗礼希望の方とともに歩みたいと望んでいます。

●養成　英隆一朗神父　募集中

【2土】夜　「道しるべの会」（青年）
【4土】午前　霊的生活養成

信徒向け霊性勉強会として、「道しるべの会（青年対象）」を5月からオンラインで再開した。若い人たちはオンラインに何の問題もなく全員参加。現在は教会でやっているが、感染拡大時にはオンラインに戻す予定。20代から30代の信徒ならばいつでも参加可。

一般信徒向け霊性養成コースは、高齢者の参加者が多く、しかも連絡先を把握しておらず、9月になってから再開した。現在は教会で行っている（残念ながら小グループのわかち合いなし）。感染拡大時に備え、オンラインでできるよう準備中。信徒ならば誰でも参加可。

●養成　Sr景山あき子

【1土】午後　聴覚障がい者

聴覚障がい者のためのクラスでは、7、8人で聖書研究と質疑をしています。部屋はゆったり、正面に人がいないようにし、中庭に向かって換気します。皆よくしゃべるので、マスクは大事です。

●養成　Sr品川ヨシ子

【2・4火】夜　カテキズム　【1・3木】夜　イグナチオ自叙伝　【1・3土】午前　聖書と絵画

分厚いテキスト『カトリック教会のカテキズムを学ぶ』に参加する当教会の人は意外と少ない。残念なこと！

『目で見る聖イグナチオ・デ・ロヨラ』のグループは、当教会の保護聖人にもっと親しむため、Ｚｏｏｍも取り入れて頑張っています。「聖書と絵画で祈る会」は、霊操の流れにのっとり、プロジェクターで映した絵画を祈りの導入に使い、黙想、その後わかち合います。今のところ新参加不可。

●養成　Sr野本佳子　継続者向け

【4水】午前　聖書講座「詩篇を生きる」

教会の祈りとして親しまれている詩編には人間の感情が表出しています。詩編に謳われている神への賛美、感謝、信頼、神の愛や助けをコロナ禍の時に味わってみませんか？　きっと詩編から希望と力をいただくことでしょう。コロナ禍拡大中はＺｏｏｍとメール配信で致します。

●養成　Sr安間房子

【火】夜　聖書100週間

4月より新グループで創世記から読み始める予定でしたが、10月よりＺｏｏｍで再開。月3回火曜19時30分～21時15分。開始を心待ちにしていたメンバーのみで行っています。みことばを聴き、味わい、わかち、折り合う豊かな集まりです。（募集なし）

●養成　栗栖徳雄

【月】午後「共に学ぶ『福音の喜び』」

休講中ですが、年明け感染者数が減少すれば参加者の意見を聞き再開します。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか」。（マルコ4：40）教皇フランシスコの呼びかけ（3月27日「特別の祈りの時」）です。教皇の使徒的勧告『福音の喜び』を学び答えを探しませんか。（再開すれば募集します）

●養成　鈴木靖規　他7名　募集中

【土】午後　信徒による宣教パウロ会

洗礼の有無にかかわらず、聖書を一緒に読みましょう。現在は、講座の代わりにＺｏｏｍで、毎土曜16時半から、主日の朗読箇所をわかち合っています。グループでミサにも参加しています。10月には、新しい回勅について話しました。新しい方も歓迎します。「使徒による宣教パウロ会」でネット検索してみてください。

「11 月のお知らせ（11 月 6 日）」から（抜粋）

◆クリスマスのミサについて　今の状況では、多くの人が自由に参加するのはとうてい無理なので、基本はネット中継視聴での参加になります。ごく少数の方のみ、事前予約して参加できます。詳細が決まり次第、ホームページその他で発表します。

◇クリスマス募金について　今年度もすでに海外から支援依頼が来ています。今回は、スリランカの霊性センター（エコロジーを含む包括的センター）の所長ティエリー・ロボアム神父（日本管区所属のフランス人で、私（英神父）と一緒に東京で司祭叙階）より、エコロジーのプロジェクトのために援助してほしいという依頼です**（下記参照）**。【追加の支援先として、11 月 1 日世界最強の上陸台風ロリー（最大風速 87kps）で被災したフィリピン・ルソン島等が加わりました。】待降節中のクリスマス特別募金（聖堂に献金袋を設置）と郵便振替用紙にあるクリスマス特別献金の項目を使って募金をお願いします。

ミサについてのお願い・変更点など

1. 聖堂内でのソーシャルディスタンスについて、同居している家族（親子や夫婦）は一緒に着席してかまいません（大司教通達）。申し込み方法に変更はありません。

2. ミサを求めて、他教会のミサにあずかることはご遠慮ください（大司教通達）。聖イグナチオ教会信徒は聖イグナチオ教会のミサにだけ出るようにお願いします。近隣の教会に通う方がよいという方は、この際、所属教会の変更も考えてみてください。

3. 土曜日正午のミサは今でも高齢者・病気の人専用です（予約なし）。前回、奉仕者を募集しましたが、多数の方が申し出てくださいました。すでに人数が足りていますので、募集は締め切っています。ご協力に心から感謝です。

4. 平日のミサなど、すべて事前予約で行っています。どのようなミサであっても、ミサ献金をお願いしています。今年度は大幅な減収が見込まれるますので、ご協力ください。

5. 教会に来られる前に、自宅で必ず検温してください。体調不良の場合、他の方々のために、自宅でのお祈りに切り替えて様子を見てください。

◇特に気をつけていただきたいこと　これから寒くなりますので、暖房を使う機会も増えると思います。そのような際でも、換気を心がけてください。マスク着用や手指の消毒はもちろんのこと、部屋の中での話し合いなどの場合、部屋の換気を必ず心がけてください。飲食をともにすることがある場合、さらに細心の注意を払ってください。屋外での会話は、マスク着用ならば比較的安全と思われます。

◆教皇来日（2019 年 11 月 23 ～ 26 日）1 周年

コロナ騒動で忘れてしまった方もおられるかもしれません。教皇フランシスコ来日のお恵みを思い起こしましょう。1 年前はどのようなことに感動したでしょうか。どういうチャレンジを受けたでしょうか。コロナウイルスまん延直前に来日されたことに、神の大きなはからいを覚えます。教会としては 1 周年記念のイベントは行いません。各自が 1 年前の体験、教皇さまのメッセージを思い起こしましょう。コロナの中で生きるヒントをすでに与えてもらっていたと思います。今こそ、福音の喜びをわかち合い、いのちを大切することを心がけていきたいものです。

カンニヤ・エコソーイングセンター（スリランカ）へのご支援を

ソーイングセンターがあるスリランカ東部トリンコマリー地区は、1976 年に始まったタミル人の武装組織と政府軍との内戦の影響を強く受けました。2009 年にタミル人の虐殺で戦争は終結しましたが、戦中インドに逃れていたタミル人は土地を奪われ、現在も阻害されながら生きています。

2004 年の大きな津波の被害も甚大で、多くの人々が今も貧困状態に陥り、コロナ感染症の影響で低所得層はますます困難に直面しています。また、自然破壊、有機廃棄物の消費の増加、ゴミの適切な取り扱いの欠如、森林破壊など環境問題も深刻な状況です。

低所得者層への援助とプラスチック、有機廃棄物を排除することを目的に、2019 年にカンニヤ・エコソーイングセンターが設立されました。ここでは、地域の女性がリサイクルのミシンを使いながら、ホテルから集めたリネン、カーテンなどでエコバッグ（写真）を製作しています。有毒廃棄物の消費を減らし、人材を育成していくために皆さまの支援とお祈りを必要としています。**※募金方法は上記「お知らせ」の下線部を参照してください。**

教会黙想会

「新しい協働」に向けて 霊操の入り口を体験する

11月23日（祝）、秋の教会黙想会が参加者数をネット申し込みの１００人に限定して、主聖堂で開かれました。ご指導は、イエズス会使徒職検討委員長の山内保憲神父（ロヨラハウス）。スライドと動画を使い、ミサも含めて約３時間、充実した黙想のひとときを、ネット視聴者とも共有しました。以下はその要旨です。（ＹｏｕＴｕｂｅにて現在も動画配信中）

（担当Ｓ）

▲山内保憲神父

〈第一講話〉

コロナ禍は週１回ミサにあずかる当たり前の日常を破壊する体験であると同時に、教会とは何なのか、その本質を考えるチャンスです。イエズス会士の半数以上が70歳以上であり、この麹町教会も、今後は聖職者と信徒がともに識別しともに働く「協働」のあり方が問われる時代に突入しています。

この教会全体がこれから向かう方向のヒントとして、イエズス会的祈りの方法「霊操（意識の究明）」があります。「霊操」日常版の５つのステップ、すなわち、

①感謝
②光を願う（この一日を神の目で振り返る）
③出来事に対する私の「心の動き」を感じる
④神と対話する
⑤明日に向かっての助けと導きを願う

を用いて、祈りの時（約７分間）を持ちましょう。

〈第二講話〉

イエズス会のソーサ総長による説明を聞きましょう。（スペイン語による約５分間の動画より）

イエズス会「使徒職全体の方向づけ（ＵＡＰｓ）」（９頁参照）は、２０１９年２月に教皇から承認された「神さまと協働していくために イエズス会が受けたミッション」です。４つの方向性を通して現代社会に奉仕することを目的としています。ＵＡＰｓは人類全体が行動や生き方を変えていくきっかけを考える一つの材料です。特に、「協働」してくれる人々とともに、第１の方向性「識別」をすることが非常に大切です。

この「方向づけ」（ＵＡＰｓ）を、どのように進めていくか。それを考え、皆で一緒に回心し、そこから神の望みに向かって自分たちを組み換えていきましょう。麹町教会が先んじて始めている「ミッション２０３０」とも非常に重なっていると思います。

（最後に、ヨハネ21：1～14「イエス、７人の弟子に現れる」からの黙想体験）

〈ミサ説教〉

待降節を迎える節目の時にあたり、生きる基準のすべてを「神の計らい」に置きましょう。霊操の５つのステップによって回心しつつ、恐れや不安を取り除いていただくことで神の国を受け入れ、霊魂が救われるよう願いましょう。

Merry Christmas　待降節、毎晩夜８時に、１人で、夫婦で、親子で、家族で、友人と、新型コロナウイルス感染症で苦しむ世界のために、心を合わせてお祈りしました。

イエスさまのご降誕を待ち望みながら、そして、１月末の私たち祇園カトリック教会の信徒会館完成を待ち望みながら。その名も『Advent 祈りの花束』、究極のテレワーク「お祈り」を小さなイエスさまにお捧げするために。

クリスマスおめでとうございます。

祇園カトリック教会　主任司祭　清水弘
助任司祭　高山親　信徒一同

イエズス会３姉妹教会より

2020 年は新型コロナウイルスでの幕開けでした。ミサをはじめ教会活動の規制により、現在の山口カトリック教会の聖堂はただ今閉館中のため、観光客の方は太陽の光が差し込むステンドグラスを見ることができず、残念です。そのかわりに、小高い山にある教会のため、野生のイノシシ家族が食べ物を求めてやってきます。

今年のクリスマスは、規模を縮小してシンプルなご降誕のミサとなりますが、回数を増やしての対応で準備しています。今年はWith コロナの中で教会活動を考える1 年となりました。来年は新たな道を模索しながら、前を向いて歩んでいかれますよう祈っております。

山口カトリック教会
主任司祭　百瀬　文晃SJ
ルイス・カンガスSJ　桜井彦孝SJ
外川直見SJ　信徒一同

「こいつぁ春から縁起・・・」でもない、新型コロナウィルスに跳梁跋扈（ちょうりょうばっこ）され、おかげでご復活ミサをはじめ、教会活動がほとんどストップしてしまいました。人と人との対面が制限される辛さが身にしみました。コロナはまた勢いをつけ感染者数が増えつつあり、このまま年を越してもどうなるか予断ができません。

六甲カトリック教会はそれでもクリスマスまでに、人数を制限しながらミサの回数を増やし、できるだけミサを通じて信徒の交わりが維持されるよう工夫しています。「止まない雨はない」という言葉を信じて「主にまかせよ」と祈り続けましょう。

六甲カトリック教会　主任司祭　アルフレド・セゴビア
中村健三神父　信徒一同

「ありがとう」パパさま来日から一年

コロナ禍の今、思い新たに…

聖イグナチオ教会 信徒の声

フランシスコ教皇の来日から一年。聖堂前に設置された記念特集の原稿募集には、教会信徒から多くの声が寄せられました。紙面の都合上、一部をご紹介いたします。

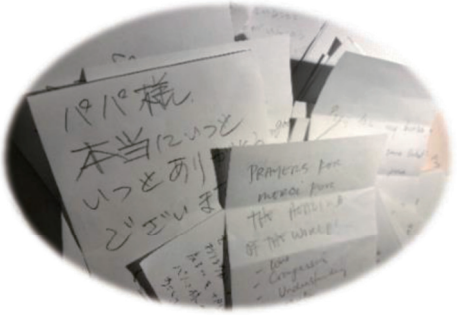
※部分的に省略、表記を変更しています

✝特別な２０２０年が、パパさまの来日の後に訪れたことに、意味を感じます。人類にとっても、特別な出来事をしっかりと経験しながら、新しい人になりたいと願います。感謝。（Ｙ・Ｋ）

✝コロナ禍となる前に教皇さまが来日してくださって、ミサを受けたことで、辛い時も励みになっています。キリスト者として祈りを通じて、この困難を乗り越えられますように。

✝パパさまの来日により「すべてのいのちを守る」ということについて考えました。その後、世界はコロナ禍にみまわれましたが、このことはパパさまの言葉を思い起こし、互いに協力し合うこと、これまでの地球環境との関わり方を見直すために神さまが私たちに与えてくださった機会なのだと受けとめながら、日々を過ごしています。

神さまに祈ります…



▲外国語のものも含め多くの声をいただき、編集担当も涙ぐみながら拝読しました。メッセージはすべて英神父さまにお渡しします。

このような状況にあって、弱い立場の人々が取り残されることのないよう、心から祈り、自分にできることをしていきたいと思います。（Ａ・Ｓ）

✝神さまのなさることは、きっと私たちにとって、何か大切な意味のあることだと思います。今すぐにはわからなくても、何年も、何十年も、何百年もたって、「ああ、神さまの御心は、こういうことだったのか。ありがとうございます」と思う日が来ます。そう信じています。（Ｍｅｔｏｋｉ）

✝神さま、今日も素晴らしい命を与えてくださり、美しい愛を教えて、伝えてくださり、ありがとうございます。愛でいっぱいあふれるようにします。（沖縄）

パパさまに感謝

✝東京ドームのごミサで「くよくよしないで信頼しろ」という神さまのメッセージを私たちに伝えてくださったことを日々感謝しています。いつも心にこの力強いメッセージが立ち上がってきます。パパさま、ありがとうございます。乗り越えていけそうです。

✝東京ドームミサでのパパさまと大群衆。と、その瞬間、パパさまと5万人の人々も同じ小さな人間なのだと気づかされたのです。一人ひとりが、かけがえのない命であると。いやドームを越えて天の国から信者であれ、非信者であれ、人間以外であれ、神さまはすべての命を愛してくださっていると確信し、心が感謝と賛美で満たされました。（どくだみの花）

✝パパさま、またきていっしょにいてください。（マリア）

✝日常生活の中で予測していなかったことが起きて、気持ちも落ち着きませんが、コロナをきっかけに新たな学びも世の中にできてきている気がします。神さまからのメッセージと受けとめています。みんなが変化を恐れることなく受けとめ、順応できる世の中になりますようにお導きください。（しんぺさん）

✝パパさまに出会うことができて、洗礼を受けることになりました。毎日感謝しています。（Ｎ・Ａ）

✝パパさまの「出て行きなさい」という言葉は、閉じがちな私の心に勇気を与えてくれています。ありがとうございます。（Ｎ）

✝いつも私たちのためにお祈りくださり、ありがとうございます。いつの日か安心して生活できる日が来ましたら、ぜひまた日本へお越しいただきたいです。平和と健康を祈って。（Ａ・Ｙ・Ｓ・Ｓ）

おしえて？
おしえて！

番外編

yo

難しそうな「使徒職全体の方向づけ（ＵＡＰｓ）」についておしえて！

受洗2年目の新米信徒がお送りするこのコーナー。イエズス会が去年発表した「ＵＡＰｓ」について、主任司祭の英神父さまにお話を伺いました。（担当Ｅ）

【問】神父さま、「ＵＡＰｓ」という言葉を聞きました。これってなんですか？

【英】「イエズス会 使徒職全体の方向づけ」といって、２０１９年の２月にイエズス会のソーサ総長が、全世界の会員に向けて出した指針です。英語の「Ｕｎｉｖｅｒｓａｌ Ａｐｏｓｔｏｌｉｃ Ｐｒｅｆｅｒｅｎｃｅｓ」の頭文字をとってＵＡＰｓといいます。

私たちも使徒職！

【問】ものすごく難しそう。それにイエズス会員で「使徒職」ということは、神父さまやブラザーなどの聖職者のために出されたものですか？

【英】そうとも限りません。聖職者と一緒に働く「協働者」も含むでしょう。ここが一番大切なところかな。例えばイエズス会の学校やセンターなどで働く信徒も含みますし、この教会で一緒に活動する信徒の皆さんも含みます。

【問】私たちも「使徒職」なのですか!?

【英】皆さんはこのイエズス会の教会に通っていますね。私たち聖職者と一緒に教会を運営しているのですから、皆さんも「使徒職」の一人です。例えばこの教会にもたくさんの奉仕グループがあり、典礼を行ったり、教会を掃除したり、ホームレスの方々に食事を提供したり、福音宣教のために仕事をされています。

　これは教会のみんなが「神の国の建設」に向けての共有したミッションのために働いている、ということ。私たちは、聖職者も信徒もミッションを与えられています。そのために「ともに働くこと」が使徒職の前提といえるでしょう。

【問】信徒としてちょっと誇らしいです。

だって、みんなの教会！

【英】教会で活動していく中で、聖職者や教会のお手伝いをするだけではなく、聖職者やたくさんの信徒と一緒に「協働」していくことが大切です。ここは「みんなの教会」なのですから、みんなに活躍してもらいたいですね。福音書を思い出してみましょう。イエスさまは常に弟子たちと「一緒」に「協働」していませんでしたか？　教会にとって「協働」は大切な原点なのかもしれないね。

教皇さま認可の意味も

【問】ＵＡＰｓはイエズス会だけのものですか？

【英】ミッションを実行するために修道会があるので、ほかの修道会にも当然それぞれ別のミッションがあります。しかしこのＵＡＰｓが特徴的なのは、教皇さまから認可をいただいたことでしょう。これは珍しいことであり、教皇さまからイエズス会が受けたミッションであると言ってもいいです。また「Ａｐｏｓｔｏｌｉｃ」には「使徒」のほか「ローマ教皇の」という意味もあります。

【問】去年は総長さまも教皇さまも来日されましたね。

【英】だからこそ、私たちの教会にとっても非常に大切なことです。総長さまは主聖堂で私たちに直接説明をしてくださいました。

　またＵＡＰｓの４項目は「教会が活性化していくポイント」であるとも考えます。隣人や環境のためにともに働きかけることは、人が生き生きすることだからです。みんなが生き生きすれば、この教会はもっと素敵になるでしょう。

【問】私たちは信仰生活の中で、ＵＡＰｓをどう活かせばいいのでしょう？

【英】実は皆さん、すでに活かしているんですよ。２０２０年の聖イグナチオ教会では「新しい協働」を掲げて、祈りを深めつつたくさんの「協働」を始めています。それ以外にも信徒一人ひとりに何ができるのか、じっくり考えていくことも大切でしょう。

【問】使徒職としての私たちにとって、一番大切な務めは何でしょうか？

【英】それは「祈ること」ですね。祈ることも使徒職としての大切な務めです。みんなの教会のための、みんなのミッションとして与えられたＵＡＰｓを、次のページでちょっと読んでみてくださいね。

イエズス会「使徒職全体の方向性づけ（ＵＡＰｓ）」詳細は次ページ

イエズス会の「使徒職全体の方向づけ（UAPs）」とは

昨年度、イエズス会が「使徒職全体の方向づけ（UAPs＝Universal Apostolic Preferences）」を発表しました。教皇来日の恵みをかみしめながら、UAPsのテーマをミッション2030に合わせて、扱っていきたいと考えています。皆さんの中で、興味のある方はこれらの動きに意識的にかかわってくださるとありがたいです。

「使徒職全体の方向づけ（UAPs）」について、なかなか改まって解説する機会がないので、ここで少し説明しておきます。イエズス会は、約10年に1回くらい総会議を開きます。世界中から代表者が集まり、次期総長を選んだり、あるいは、イエズス会全体の歩みを検討し、教令を発表したりしています。2016年の第36回総会議では、昨年日本に来られたアルトゥーロ・ソーサ総長が選ばれました。その総会議の要望を受け、ソーサ総長のもと、今後、世界のイエズス会が使徒職を果たす上で、より強く意識（Preferences）していくべき4つの課題を決めました（2019年2月）。

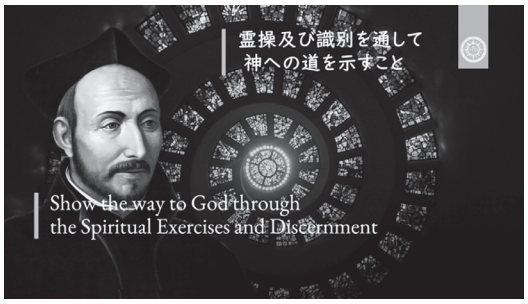
これは2019年から29年までの10年間をかけて、イエズス会全体が心にかけて歩んでいく1つの方向性となります。

聖イグナチオ教会も、イエズス会の教会ですから、UAPsをしっかりと意識しながら歩んでいきたいです。と同時に、聖イグナチオ教会として、独自のビジョン「ミッション2030」（こちらも4本柱）があります。2つを比べてみますと、まったく矛盾せず、むしろ補完的にさらに豊かさが出てくるように思います。コロナ禍の中にありながらも、ミッション2030とUAPsをともに深めていくことができるとよいなと願っています。

UAPsの4つを簡単に説明しておきます。

①霊操および識別を通して神への道を示すこと

『霊操』とは、聖イグナチオが自らの霊的体験をまとめ、他の人もあずかることができるような祈りの手引き書である。イエズス会の基本的な霊性であり、イエズス会の学校も教会もすべてこの精神に基づいている。聖イグナチオ教会の皆さんも、ぜひこの霊操の精神を深め、神のみ旨を識別して、実践できる成熟した信徒になってもらいたい。今回の黙想会はこのテーマを深める機会としたが、来年度はさらにいろいろな方法で深めていきたい。



②和解と正義のミッションにおいて、貧しい人々、世界から排除された人々、人間として尊厳が侵害された人々とともに歩むこと

これは教会の大きな役割のとひとつである。例えば、コロナ禍で苦しんでいる多くの生活困窮者がいる。まず彼らの必要に応えていきたい。教会としてタイミングよく2020年春からシェルターの運営を始めた。今のところほぼ満室状態が続いている。

このような特別な奉仕だけでなく、皆さんの周りにおられる困窮者にできる助けを意識し、実践していってほしい。

③希望に満ちた未来の創造において若い人々とともに歩むこと

この教会は恵まれていて、多くの若い人々が訪れている。教会学校や青年会・その他の集まり（最近は国際マジスに報告あり）などを通して、彼らとともに創造的な未来を築いていきたい。

④「共に暮らす家」（地球）への配慮と世話を協働して行うこと

教皇フランシスコの来日を受けて、日本の司教団が毎年9月をすべてのいのちを守る月間に定めた。

また、まさにコロナウイルスのまん延による感染症拡大は、私たち地球全体の自然環境を見直す絶好の機会でもある。

このような動きに合わせて、この教会でもエコロジー的配慮を意識し、何らかの実践につなげていきたい。

少しずつ再開しています！秋の教会活動

幼児洗礼式（10月25日）

フォローアップ講座（10月31日）

初聖体（11月1日）

七五三祝福式（11月7日）

堅信式（11月15日）

結婚感謝ミサ（11月22日）

教会黙想会（11月23日）

教会施設“修繕・保全報告”

教会施設の 2019 年度修繕・保全の主な実施内容と本年度計画についてご報告いたします。

1. 2019 年度実施状況

1）建築関係
- 大規模修繕に向けての主聖堂天井調査
- 2F 男女、ファミリートイレの改修
- 3F テラス巾木劣化破損修繕

2）給排水衛生設備関係
- 2F 男女、ファミリートイレの改修

3）電気設備関係
- 主聖堂天井照明更新（LED 化）

その他を含め、合計 5 件の調査・改修・修繕・更新を行い、予算 2450 万円(税込)に対し、費用実額は 2100 万円(税込)となりました。また、突発した主聖堂天井梁塗装剥離の修繕費として 280 万円(税込)が予算外で発生しました。

2. 2020 年度実施計画

本年度は主に空調設備 5 件、電気設備 3 件、給排水衛生設備 1 件を計画（予算 3350 万円(税込)）していましたが、コロナ禍の影響を受け電気室空調機更新のみ実施し、他は中止します。

3.　信徒会館エレベーター更新について

信徒会館エレベーターは設置から 20 年が経過し、更新時期に入りました。更新工事中はエレベーターが使用できませんが、コロナ禍で人の出入りが少ない今期ならばエレベーターが使えない不自由さも軽減されると判断。2021 年 1 月～ 3 月更新工時を実施します。更新費用 7260 万円(税込)は、大規模修繕用や建て替え用として積み立てている「建設基金」から出金します。

更新工事期間　2021 年 1 月 18 日(月)から 3 月末まで

更新工事内容
1）カゴ、駆動方式の変更
更新後の運用コスト、維持管理を考慮し、現在の油圧式から機械室レス式（エレベーター本体に駆動部が付く方式）に変更します。
2）当教会エレベーターの必須条件として葬儀のとき棺が入らなければなりません。この条件を充たすため、各階のエレベーター間口を改修します。

更新工事期間中、皆さまにはご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。

施設委員会

11 月の宣教司牧評議会からのお知らせ

ミッション 2030 小委員会から、教会活動グループ規約の見直しについて答申がありました。宣教司牧評議会で改訂に向けて検討を進めます。

2021 年度信徒評議員候補者の推薦をお願いします

当教会の運営・管理は宣教司牧評議会のもとで行われています。宣教司牧評議会は、司祭団、シスターと信徒評議員 12 名によって構成されます。詳細は投票用紙でご確認ください。

推薦受付期間　：　2020 年 12 月 6 日(日)
～　2021 年 1 月 10 日(日)

財務報告

11 月 15 日(日)の「ミャンマーデー」の献金 431,763 円をミャンマーの教会へ送金しました。

新年祝賀会　中止

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

年末年始の教会事務室

12 月 26 日(木)～ 1 月 8 日(金)まで通常業務はお休みです。証明書などの発行依頼は、お早めにお申し出ください。

信徒会館は 12 月 26 日(木)～ 1 月 8 日(金)まで 19 時閉館となります。

クリプタについて

クリプタ申し込み、納骨に関する業務は 12 月 14 日(月)～ 1 月 8 日(金)までお休みです。なお、お参りは平常通りできます。

クリスマス・年末年始の案内所

・12 月 24 日(木)　11：00　～　22：00 頃
・12 月 25 日(金)　9：30　～　18：00
・12 月 26 日(土)　お休み
・12 月 27 日(日)　9：30　～　18：00

年末年始のお休み
12 月 28 日(月)～ 1 月 4 日(月)
1 月 5 日(火)から通常オープン

枝の回収

本年 4 月の「枝の主日」で祝福された枝を 1 月 23 日(土)から 1 月 31 日（日）の日程で回収いたします。

12 月の典礼と行事

3　（木）　聖フランシスコ・ザビエルの祝日		
4　（金）　初金曜日		
6　（日）　待降節第 2 主日		**宣教地召命促進の日・献金**
8　（月）　無原罪の聖マリアの祭日		**東京カテドラル献堂記念日**
13　（日）　待降節第 3 主日		
19　（土）	**子どもと家庭のクリスマスミサ　　14：00**	
20　（日）　待降節第 4 主日		
24　（木）　降誕祭前夜（クリスマスイヴ）	**降誕祭前夜ミサ　15：00　17：00　19：00（キャンドルサービス）　21：00　22：30（英語）**	
25　（金）　主の降誕の祭日	**ミサ　7：00　8：30　10：00　12：00（英語）　13：30（スペイン語）　15：00（ベトナム語）　18：00**	
27　（日）　聖家族の祝日		

1 月の典礼と行事

1　（金）　神の母聖マリアの祭日	**元旦ミサ（午前 0 時及び主日と同じ時間）**	**世界平和の日**
3　（日）　主の公現の祭日		
10　（日）　主の洗礼の祝日	子どもとともにささげるミサ　10：00 **成人式ミサ　18：00**	
17　（日）　年間第 2 主日	サントニーニョフェスティバル　15：30	
18　（月）		**1 月 18 日～ 25 日キリスト教一致祈祷週間**
24　（日）　神のことばの主日	**教会活動連絡会議　13：00　ヨセフホール**	**ケルンデー**
31　（日）　年間第 4 主日		**世界こども助け合いの日・献金**

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予定が変更になる場合があります。
最新情報はイグナチオ教会ホームページでご確認ください。

クリスマスミサについて

2020年のクリスマスミサについては、12 月 5 日（土）12 時からホームページ、掲示板、チラシ、またミサの中でお知らせいたします。但し、コロナ禍拡大状況によっては予定が変更されますので、ホームページにて常に最新情報をご確認ください。

主任司祭：英　隆一朗
助任司祭：ボニー・ジェームス
　　李　相源
協力司祭：ヘネロソ・フローレス
　　ハビエル・ガラルダ
　　グエン・タン・ニャー
　　マヌエル・シルゴ
ブラザー：吉羽　弘明
シスター：イベッテ・サンチェス
　　(セントロ・ロヨラ)
　　フロール・フロレーセ
　　(ジョン・デ・ブリッド　イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサ時間　Mass

【平日 Weekday】
7：00（聖体顕示）主聖堂　Main Chapel
12:00/18:00（ミサ又は聖体顕示、聖堂は要確認）

【日曜日 Sunday】主聖堂　Main Chapel
土曜 18:00/7:00/8:30/10:00/18:00
12:00（English）/13:30（Español）/
15:00（Việt Nam）/16:30（English）

【月の第 1 日曜日 1st Sunday】
Our Lady's　Chapel
12:30（Português）/16:00（Polski）

【月の第 2 第 4 日曜日　2nd & 4th Sunday】
Our Lady's Chapel　16:30（Indonesian）

カトリック麹町教会
（聖イグナチオ教会）
〒 102 － 0083
千代田区麹町 6 － 5 － 1
TEL 03 － 3263 － 4584
FAX 03 － 3263 － 4585
http://www.ignatius.gr.jp
ホームページ　フェイスブック

マジスへのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。